

災害時の手引きを寄贈

日本公衆電話会県分会(岡部信之会長)から災害用伝言ダイヤル「171」の使い方などをまとめた冊子「災害時連絡方法のてびき」400部を寄贈していただきました。災害用伝言ダイヤルはNTTグループが提供している安否確認サービスで、冊子には、その概要や災害時の公衆電話の利用方法などが紹介されています。

この日は、森谷孝司副分会長が役場を訪れ田宮町長に手引きを手渡しました。

この手引きは、自主防災組織へ配布したり避難所に設置したりして、災害時に活用されます。



(8月27日 町長室)

仲間と全力の競い合い



(8月25日 河北中学校)

第40回河北中体育祭が行われました。台風の影響もあり、時折雨が強く降る場面もある中、生徒たちは、学年種目や軍別対抗リレーなど、どの種目も正々堂々と白熱した戦いが繰り広げられました。白軍は「疾風怒涛」青軍は「蒼炎戦神」紅軍は「英雄豪傑」という言葉をそれぞれ掲げ、迫力のある大看板からもその闘志が伝わってきました。

今年は競技優勝・応援賞ともに紅軍が勝ち取り第34回の白軍以来の二冠を達成しました。

軽く見えても意外と・・・

健康づくり推進員養成研修会として、健康運動指導士の色摩幸子氏を講師に招き「玄米ダンベル体操と認知症予防の体操」が開催され、43人が参加しました。

玄米ダンベル体操は、布の中に約300gの玄米を入れて作ったダンベルを用いて行う体操です。講師が、軽く感じる玄米ダンベルでも、しっかり握って正しい姿勢で行うことで効果的な運動になると12の基本体操を伝えると、参加者たちは、時折笑顔を見せながら、真剣に取り組んでいました。



(9月3日 どんがホール)

石川賢治氏の志を受け継いで寄附



中央図書館前にある石川賢治氏の胸像

中央図書館は、「わが町にも、誰でも本の読める教育施設を」と石川賢治氏が開設に向け尽力したものです。この度、大阪市に本社を置く、丸石化学品株式会社(藤園弘代表取締役社長)から、同社の創業100周年を記念して30万円の暖かい寄付金をいただきました。

これは、同社の前身がその石川氏が創業した「石川商会」であった縁から、石川氏と同じ志で図書館関係に使ってほしいと寄付をいただいたものです。

寄付金は今後、図書館の図書の実や施設内の備品購入など有効に活用されます。